日本労働年鑑　第51集　1981年版

The Labour Year Book of Japan 1981

第三部　労働政策

Ⅳ　賃金政策

概要

一、本期間においては、賃金政策に顕著な変化はなかった。しかし、高齢化傾向と、財政再建対策とに関連して公務員の、人事制度の見直しが日程にのぼり、給与制度についてもその一環としての変更が問題となった。

一、人事院の給与に関する勧告(七九年八月)は、「史上最低」といわれた前年度を下回り、定昇をのぞき三・七〇%の引上げとなった。その配分では、中堅層の改善が相対的に大きかった。

一、地域別最低賃金は、全国平均で六・三%引き上げられ、二六二七円となった。
一、失対事業の賃金は、予算上、七・八%引き上げられた。

日本労働年鑑　第51集　1981年版
発行　1980年11月25日
編著　法政大学大原社会問題研究所
労働旬報社
＊＊＊＊年＊＊月＊＊日公開開始